日本美術家連盟 2026年度

後期公開講座のご案内

お申し込みは、連盟ウェブサイトの〈申込フォーム〉(左QR)よりお願いします。インターネットをご利用になられない方は、FAX等で、**①名前(フリガナ) ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④会員(会員番号)・非会員の別、⑤どの講座にお申込みか** 事務局までお知らせください。お申込み後に事務局から**「参加決定通知書と参加費の請求書」を受け取られた方のみがご参加できます。**定員になり次第締切りますが、**応募者殺到の場合は、抽選です。**

公開講座 申込方法

申込フォーム




小島 暁夫


武田 州左


三浦 明範

鼎談 小島美術社長 小島暁夫氏に聞く

――新たなメディウム・新素材の謎に迫る

話し手 小島暁夫　聞き手 武田州左・三浦明範

11月27日(金) 14:00▶16:00

場所：日本美術家連盟 会議室　もしくは zoom での視聴
定員：会場10名・zoom20名程度　参加費：会員 5,000 円・一般 8,000 円

日本画で使用されていた三千本等の伝統的な和膠は、後継者の不在から2011年に生産が中止されました。現在は新たな製法による三千本膠が市販されていますが、その製造も継続の保証があるとは限りません。
このような状況の中で開発されたのが合成樹脂膠ですが、使い慣れない素材に戸惑いや不安を感じている作家も多いでしょう。そこで、「アートグルー」や「アートレジン」の開発・発売元である小島美術の小島暁夫氏をお迎えし、お話を伺います。

ZOOM参加可



アトリエで制作中の宇野 務 講師

実習 蝋による直接的表現

講師 宇野 務

1日目：2026年12月19日(土) 10:00▶17:00
2日目：2027年2月13日(土) 9:00▶16:00

場所：神奈川県茅ヶ崎市 宇野氏アトリエ
定員8名
参加費(2日間計)：会員30,000円・一般50,000円
(＊昨今のインゴット代高騰のため、例年通りの参加費を維持できませんでした。ご理解ください)

彫刻家の技法を通して作家たちがどのようにブロンズと取り組んでいるのかをイタリア式蝋型鋳造技法を中心にご紹介致します。
また実際に蝋を用いて小品の制作を行い、鋳物にします。



実技 羽根ペンと没食子(もっしょくし)インクによる素描

講師 土井原 崇浩

＊没食子：植物の枝や葉に、タマバチなどが産卵することでできる「虫こぶ」で、タンニンを多く含み、インクの原料になるもの。

2027年1月30日(土) 14:00▶16:00

場所：久留米市：石橋文化会館 会議室 A
定員14名　参加費：会員 5,000 円・一般 8,000 円

福岡県久留米市開催

西洋古典インク(没食子インク)はルネッサンス期の巨匠も使用したインクで、紙上に数百年残る消えにくいインクです。
本講座は、没食子インクの製法や特徴、羽根ペン先の削り方を学んだ後、このインクによるルネッサンス期の巨匠たちの素描模写を行います。また、各自の素描(植物)にも取り組んで頂きます。その植物素描にカリグラフィー技法でサインを入れ、作品を完成させます。鉛筆や木炭では表現できないような、豊かでゆらぎのある素描を体験して頂けたらと思います。

土井原 崇浩

公開講座 申込方法

申込フォーム

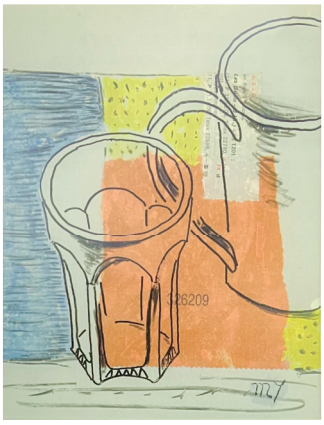
日本美術家連盟 2026年度 前期公開講座のご案内

応募者殺到の場合は抽選です。
お申し込みは、連盟ウェブサイトの〈申込フォーム〉(左QR)よりお願いします。インターネットをご利用になられない方は、FAX等で、**①名前(フリガナ) ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④会員(会員番号)・非会員の別、⑤どの講座にお申込みか** 事務局までお知らせください。お申込み後に事務局から**「参加決定通知書と参加費の請求書」を受け取られた方のみがご参加できます。**定員になり次第締切りますが、
応募者殺到の場合は、抽選にて参加者を決定します。

■技法材料研究委員会会議報告　委員長 小林 裕児

去る5月15日、この春に移転した連盟の新ビルの会議室で主に本年度の「公開講座」の企画について話し合いました。委員長の選任を行い、前年に続き小林裕児が再任となりました。昨年度の公開講座の報告を受けて、今年度の講座について連盟ならではの企画とは何か、地方開催の必要性などが活発に議論され、各自提案の企画について詳細な検討が行われ、本年度はより専門的な研究会なども企画することが決まりました。年一回だった委員会を9月中に再度開催し実施の内容を深めて行くことも決まりましたので、会員の皆さんから**「こんな講座を開いて欲しい」「私の住まいの近くのここでなら講座を開ける」**等、事務局まで講座のアイデアや情報をお寄せください。

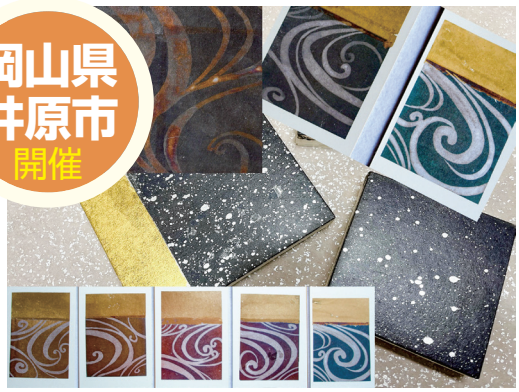
㊍第一部門：小林裕児・滝沢具幸・武田州左・三浦明範・山本靖久・渡辺達正、(欠席：太田國廣)、
第二部門：宇野務・前田耕成


山口実氏によるガラス絵

実技 ガラス絵講座　講師 山口 実

8月20日㊍ 13:00▶16:00(予定)　場所：日本美術家連盟 会議室
定員 10 名 程度　参加費：会員 5,000 円・一般 8,000 円

ガラス絵は古くから多くの画家達が様々な材料や技法を駆使しています。今回はインチサイズのガラスにドローイングの線とコラージュを用いて制作します。ガラスには描きにくい鉛筆ですが、線の魅力を求めて油性のダーマトグラフ鉛筆と他に油性顔料ペンを使用します。ドローイングした線の背景に印刷物や布をコラージュして仕上げることで、ガラス絵の面白さや魅力など表現の可能性を発見できればと思っています。



森山講師による箔焼きのイメージ

講義・実技 箔の厚みと硫化表現　講師 森山 知己

9月19日㊏ 13:00▶16:00
場所：華鴣(はなとり)大塚美術館（井原鉄道井原線「子守唄の里 高屋駅」下車 駅のすぐ前）
定員 10 名　参加費：会員 5,000 円・一般 8,000 円

表現における箔の厚みへの注目と、尾形光琳が使ったかもしれない紅白梅図屏風に見られる黒い水流表現、それを黒以外の色で表現する技法についての勘所講座。


2024年度開催の同講座「偶発形態による構成」風景

実技 偶発形態による構成　講師 太田 國廣

10月1日㊍ 13:00▶16:00　場所：日本美術家連盟 会議室
定員 8 名 程度　参加費：会員 5,000 円・一般 8,000 円

しみ・滲み・ドリッピング・スクラッチ・マーブリング・フロッタージュなどの各種技法を様々な素材を用いて実践し、これらの偶発性の強い形態を利用した構成法・発想法について考察、実習します。


渡辺講師による石膏刷りとメゾチント補助具

実技 石膏刷り　講師 渡辺 達正

〈かまぼこ板と鍋しきでつくるメゾチント補助具付き〉

10月22日㊍ 13:00▶16:00　場所：日本美術家連盟 会議室
定員 8 名 程度　参加費：会員 5,000 円・一般 8,000 円

「石膏刷り」は石膏の吸着力を利用して、銅版のインクを転写するので、プレス機が無くても凹版画を刷る事ができます。本講座は私が考案して発売されているキットを使い、ハガキ大ほどの作品を制作します。
今回は私が独自に考案した「かまぼこ板と鍋しきでつくるメゾチント補助具」も使い、敬遠されがちな「メゾチント」も石膏刷りで体験してみましょう。